

# 地域活性化という「遊び」

61

京都市  
福知山市 「みわ・ダッシュ村」から

山本晋也

筆者プロフィール

1968年、京都生まれ。美術大学を卒業して渡米後、京都で現代美術作家として活動。そのかたわらオーガニックレストランを経営するも食材を種から作ってみたいくなり、京都市内で畑を始める。結婚して3人の子供を授かったころ、農業生産法人みわ・ダッシュ村の清水三雄と出会い、福知山市の限界集落に移住。廃屋を修繕しながら家族で自給自足を目指す。土と向き合ううち田畑と山や川、個人とコミュニティの関係やその重要性に気がつき、田舎も都会もすべて含めた「大きな意味での自給」を強く意識するようになる。この考え方は、美術家時代にドイツの現代美術家ヨゼフボイスのすべての人が参加して創り上げる社会彫刻という概念に影響を受けた。現在みわ・ダッシュ村副村長。

**移** 住前の僕の仕事が  
芸術関係やレストラン経営と  
いうこともあり

どちらかというと

生活が夜型だったせい

か

山本家

田舎暮らしキャリア10年のベテラン

というわりに

早起きが最大の苦手

集落が山間で

冬ともなると家に日が当たるのが

とても遅いのと

農閑期で

作業がさほど忙しくないため

みんなの気持ちもゆるみがちで

なかなか布団からでることができま

せん。

しかし

子たちが立派に成長し

本格的に仕事に参加するようになり

それぞれに成し遂げたい夢や目標も

持ち始める

やはり一日の時間が不足気味。

元旦みんな話した結果

やはり朝のスタートがもっとも重要

なにか日課をきめて早起きし

毎朝かさず取り組んでみたらどう

だろう

ということになりました。

あらためて

集落を見まわしてみますと

裏山の溝に落ち葉がたまっていたり

空き家になってしまった家の前の溝

が埋まっていたり

道路の脇に木が倒れたままになって

いたり

川に不法投棄のゴミがおちていたり

「前から気にはなってるやりたいとは思

ってるんだけど……」

というようところがいっぱいあり

## 一石二鳥「半日村」大作戦

### ちよっと早起きをもたらした恵み

ます。

さいしょは自宅周辺だけでも考

えていたのですが

やはり変なところで生真面目な山本



やり始め。  
もう溝があったとは思えないほど埋まっています。

家の面々

「見てしまった以上それ全部解決し

よか」ということになりました。

しかし

全部と言ってもはみたもの

よくよく考えると

かなりのポリユーム。

一気に全部をやるうとする



不法投棄？  
川に捨てられたゴムホース簡単に拾えると思ったら  
大きな石に食い込んでいて大変でした。

冬のボーナス！  
(自然薯)



無事貫通。  
こういう仕事やり  
遂げることの気持ちよ  
さとてもよく感じら  
れます。

嫌になって続かないし  
新たに時間を作るために早起きする  
のだから  
あまり作業に時間をかけてしまって  
は本末転倒。  
結局ごく短時間でいいから  
毎日かかさずやろうということに決  
めました。  
この発想は  
僕も子たちも読んだ半日村という  
絵本からいただきました。  
山に囲まれた  
日当たりの悪い集落を  
主人公と村の人が  
毎日毎日すこしずつすこしずつ  
山を削って

日当たりの良い集落に変えてしまう  
という壮大なお話ですが  
限界集落に暮らす僕らにとっては  
この絵本  
なんとなく他人事とは思えず  
主人公のように大きな山を削って  
村全体を明るくすることは現実的に  
不可能でも  
毎朝すこしずつでも掃除して  
集落が綺麗になっていけば  
村の人や自分たちの気分くらいは  
明るく変えられるのでは思ったか  
らです。  
ついでに僕らが苦手な早起きの習慣  
まで身についたら  
まさに一石二鳥。

と  
いうわけで

次の日正月は2日から

山本家のちよっと早起き半日村大作  
戦が始まったわけですが

これがなんとも気持ちがいい。

そして空き家になって放置されてい  
たお家の前の溝

落ち葉やイノシシが崩した土で完全  
に埋まって固まって

もう修復不可能

とまではいきませんが

あまりに状態がひどく

だれもが恐れをなして手をつけな  
かったのですが

毎日毎日すこしずつすこしずつの

半日村大作戦が功を奏し

10日ほどでみごと貫通。

長年埋まったままだった溝の中は

草の根どころか竹の根っこまで入り

込んで石を抱き込んだり

それらすべてを取り除くには困難

を極めました

途中食べられるくらいの自然薯がで

てくるなんていう

嬉しいハプニングもあり

村の人の笑顔を見るまえに

僕らが先ず笑顔になったのは言うま

でもありません。

その自然薯

もちろん夕食にいただきました。

お味？

おいしくないわけではないでしょ！